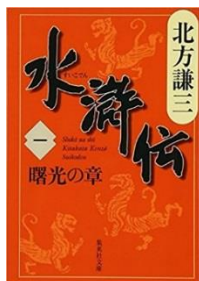


# 図書館通信 5月号 宇東図書館委員会

校庭の木々が青々と生い茂り、快い風を感じる季節になりました。「朝の読書」が始まったばかりですが、皆さんはどんな本を読んでいますか？

今月は、今年度から本校に来られた先生方のお薦めの本と、宇東高生へのメッセージを紹介します。ぜひ、「朝の読書」の本を選ぶ参考にしてみてください！



檜垣 駿 先生（国語）のお薦めの本

「苦しみに立ち向かう漢たちの友情と生き様が魅力。」

『水滸伝』 北方 謙三 著

十二世紀の中国、重税と暴政により国は乱れ、困窮する民。彼らを救うため、立ち上がった漢たちの物語。

宇東高生へのメッセージ：本を読む機会や読書量を増やしましょう。



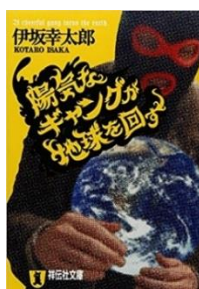
林 広樹 先生（理科）のお薦めの本

「いろいろと考えさせられます。最後のシーンは感動もの！」

『手紙』 東野 圭吾 著

強盗殺人犯の罪で服役中の兄、剛志。弟、直貴のもとには月に一度、剛志から手紙が届く……。犯罪加害者の家族を描いた不朽の感動作。

宇東高生へのメッセージ：少しでも良いので読書の時間を確保してみてください。



井上 淳一 先生（芸術）のお薦めの本

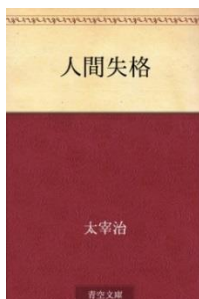
「物語構成が面白く、伏線の回収がたまらない。」

『陽気なギャングが地球を回す』 伊坂 幸太郎 著

嘘を見抜く名人、天才スリ、演説の達人、精確な体内時計を持つ女。彼らは天才銀行強盗だった。しかし、ある日「売り上げ」を横取りされてしまい……。

映画化もされた、ハイテンポ・サスペンス！

宇東高生へのメッセージ：「1.01 の 365 乗と 0.99 の 365 乗。」



清家 祥 先生（保健体育）のお薦めの本

「強いインパクトに、読んでいて衝撃を受けた作品。」

『人間失格』 太宰 治 著

「恥の多い生涯を送ってきました」3枚の写真とともに贈られる手記には、ある男の陰惨な半生が綴られていた。太宰治の「遺書」とも呼ばれる代表的作品。

宇東高生へのメッセージ：出会えてよかったと思える作品を見つけてほしい。

## 『書物は時空を超える』～科学道 100 冊～

「科学道 100 冊」を理化学研究所から寄贈していただき、書架に科学関連の本が追加されました。科学道 100 冊のパフレットの中から理化学研究所理事長、松本紘さんの言葉を紹介します。

“本を 100 冊読んでも、賢くなるわけではありません。物知りにはなるかもしれませんが、それは他人の知識です。大切なのは、まず自分の頭で考えること。その上で、わからないことのヒントを書物から見つけるのです。広い知識を吸収するためには現在の情報だけでなく、過去から累積された知に触れることも大切。知のネットワークを広げ、物事の

